

ダンス専門部・感染拡大予防ガイドライン

専門部長名 飯塚 晃代 印

専門部担当者名 久保田 由佳 印

(所属校名) 栃木県立さくら清修高等学校

感染が想定される場面	具体的な予防策
○更衣室・待機スペースの感染リスク	<ul style="list-style-type: none"> ○来場時に、連絡先・風邪症状の有無・体温記入した用紙の提出をする。 ○参加生徒同士の密を避けるために、宇都宮市文化会館大ホール以外に総合コミュニティーセンターと明保野体育館、宇都宮市文化会館練習室1・2を借用し、更衣室と練習場所を確保する。また、更衣室と練習場所の利用はタイムスケジュールを作成し、一度に入室する人数を制限すると共に、人の流れがいつの方向で交錯せず、密にならないようにする。 ○各会場は使用交代時に必ず換気、ドアノブ等の消毒を行う。 ○練習時間以外はマスクを着用する。
○本番前舞台裏の待機場所の感染リスク	<ul style="list-style-type: none"> ○生徒が距離をおいて並べるように目印を設置する。 ○生徒の移動を一方通行にし、時間で場所を移動しできる限り参加生徒の接触を避ける。
○審査員同士の密集防止	<ul style="list-style-type: none"> ○審査員の座席については、十分な間隔を確保する。また、マスクを着用していただく。
○専門委員・役員・補助役員の感染防止	<ul style="list-style-type: none"> ○マスクを着用し、こまめに消毒作業を実施する。
○会場の密閉防止	<ul style="list-style-type: none"> ○窓及びドアを開けて頻繁に室内の換気を行う。
○大ホール受付時の対応	<ul style="list-style-type: none"> ○当日受付は顧問が行い、その際に参加生徒の健康確認シートを提出する。体調不良生徒はすぐに帰宅してもらう。途中で体調不良になったときも同様に帰宅させる。迎えが来るまでの待機場所を設定し、接触者を最小限にする。 ○練習・本番以外の時間はマスク着用をすることを徹底する。 ○入口と出口を一方通行にして他校との接触をできるだけ避け、さらに消毒液を設置する。 ○受付場所はアクリル板や透明ビニールカーテンなどを設置する。
○観客の管理	<ul style="list-style-type: none"> ○観客同士が密になることが予想されるため、観客制限や入れ替え制にする等感染対策に努める。 ○観客にマスクの着用を周知・徹底する。
○参加生徒の作品鑑賞	<ul style="list-style-type: none"> ○他校参加生徒との密を避けるため、作品鑑賞は行わない。 ○感染状況により鑑賞可能と判断されるときは、指定された時間(更衣・練習・発表)以外には鑑賞できる。座席は学校ごとに指定し、鑑賞時は必ずマスクを着用する。昼食会場を利用する場合は、20分以内に済ませる。
○感染者が確認された場合の備え	<ul style="list-style-type: none"> ○利用者全員に連絡先・風邪症状の有無・体温記入を徹底をし、来場時に用紙提出をする。
○明保野体育館及び総合コミュニティーセンター利用者の把握・感染対策	<ul style="list-style-type: none"> ○各会場とも担当者を配置し、各学校の人数確認を行う。 ○移動の際は、必ずマスクを着用させる。 ○入り口に消毒液を設置する。
○会場への交通手段	<ul style="list-style-type: none"> ○できるだけ公共交通機関を使わずにすむよう、各学校で工夫して集合解散をする。

参考文献

○宇都宮市文化会館施設利用及び申請のご案内